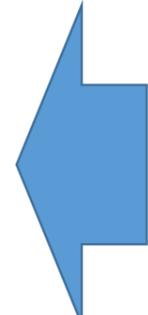


※ 左記方向性の基本となる国、市の方針等

1 第7期介護保険事業計画で新たに重点に位置づける可能性のある取り組み

- ☆ 介護する家族の就労継続支援 …支援体制の確保、サービス整備、介護人材確保
- ☆ 元気な高齢者の活躍の促進 …就労継続、多様な担い手としての役割
- ※ フレイル予防 → 予防、医療・介護連携（既重点）
- ※ 看取り → 本人の意思の尊重、医療・介護連携（既重点）
- ※ 保険医療計画との連携 → 医療・介護連携（既重点）



2 第7期介護保険事業計画の事業に反映したい内容

- 圏域、地区の単位の変更
 - ・4圏域（堺・忠生、鶴川、町田、南）の見直し
 - ・地区の拠点は、現在の高齢者支援センターとあんしん相談室（計20か所程度）とする。
- 地区ごとの特徴の見える化
 - ・高齢化率、要介護認定率、資源（基盤整備等）の充足度等 を示す
 - ・ニーズ調査を地区単位で分析
- 保健医療計画、データヘルス計画との連携
 - ・保健医療計画に「医療・介護の連携」を掲載
 - ・データヘルス計画の内容を、保健・介護双方の計画と連携
 - ※介護には、地域包括ケアを強調した健康づくりに特化して掲載
- PDCAマネジメントの実施
 - ・各施策、事業についてPDCAを図り、特に「A」の取扱いを明確にする。
- 地域包括ケアシステムの進化
 - ・総合事業の開始により、介護予防が生活支援と一体として新たな提供体制へと移行 等

3 高齢者福祉計画の見直しの視点

- 介護保険事業計画との整合性を図る
 - ・第6期に介護保険事業計画に位置付けられた事業の整理
 - ・総合事業の追加 等
- 町田市版地域包括ケアシステムの明確な記載
- 成果指標の見直し
- その他
 - ・廃止事業の整理 等

| |
|--|
| <p>全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議（2016.3.7）</p> <p>○第7期介護保険事業計画の策定準備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第6期介護保険事業計画からの地域包括ケアシステム計画の位置づけの継承と第8期、第9期を見据えた段階的な取り組みの推進 ・医療介護総合確保方針の改定、保健医療計画との連携 ・介護離職ゼロの推進 ・PDCAマネジメントの実施や給付の適正化などの着眼した保険者機能の強化（見える化システムの活用等） ・他計画（生涯活躍のまち形成事業計画、高齢者居住安定確保計画を策定する場合）との調和 |
| <p>ニッポン一億総活躍プラン（2016.6.2閣議決定）</p> <p>○「介護離職ゼロ」に向けた取り組みの方向</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆検討すべき方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス提供側（介護基盤の供給、介護人材の確保・育成） ・介護に取り組む家族（家族を支える環境づくり 等） ・高齢者等（高齢者に対するフレイル予防・対策、地域課題の解決力強化と医療・福祉人材の活用） ◆対応策 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の利用ニーズに応じた介護サービス基盤の確保 ・求められる介護サービスを提供するための多様な人材の確保、生産性の向上 ・介護する家族の不安や悩みに答える相談機能の強化・支援体制の充実 ・元気で豊かな老後を送れる健康寿命の延伸に向けた取り組み ・高齢者への多様な就労機会の確保 等 |
| <p>町田市次期5か年計画（2017～2021）</p> <p>○新たな事業展開が必要とされる分野 【Ⅱ 高齢者や障がい者を地域のみんなで支えあうまちだ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ビジョン <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者など支援を必要とする人の支え手を行政以外の主体に担ってもら ・高齢者や障がい者などがなるべく支援を必要とせず自立した生活ができるようにして、社会保障費の増加を抑制する。 ◆町田市地域包括ケアシステムの構築に資する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進（動機づけ、ICTの活用、産学官等多様な主体との連携） ・元気高齢者の活躍の推進 等 |
| <p>町田市まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015～2019）</p> <p>【基本目標4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る】</p> <p>○健康で充実した生活を送れるまちをつくる</p> <p>市内の各地域に健康づくりの拠点や支援体制を構築し、高齢者への医療介護等のサポートを地域と一体となって提供するほか、高齢者が生きがいを持って暮らせる活動を促進</p> <p>○公共交通を強化し、誰もが移動しやすいまちをつくる</p> <p>市内の公共交通の質を高め、日常生活の利便性を向上します。</p> <p>○多世代のコミュニティが充実した良好な住環境をつくる</p> <p>団地や公共施設の空き空間などを活用しながら、多世代のコミュニティ形成を促進する活動やその場を確保し、相互に助け合いながら地域の住環境を高めていきます。</p> |